

# 障がいのある方の全国テレワーク推進ネットワーク (全障テレネット)

国の「働き方改革」の後押しもあり、障がいのある人に、在宅で働く「テレワーカー」として力を発揮してもらうことを考える企業も増えてきました。法定雇用率の引き上げと共に、新しい「雇用」の形は更に注目されています。

一方、雇用されて働くことは困難であっても、ITを使った仕事で社会と繋がりを持ちたいと考え、「フリーランス」や「社会就労」の形で、在宅で働くことを選ぶ方々も大勢います。

そこで、長年、障がいのある方のテレワークに関わる支援を地域で行っていた団体がこのたび集結し、テレワークをより推進していくための全国的なネットワーク組織を作りました。

テレワークのより積極的な推進のために



## 【ネットワーク団体】

NPO 法人札幌チャレンジド(北海道)、社会福祉法人東京コロニー職能開発室(東京都)、NPO 法人ぶうしすてむ(愛媛県)  
NPO 法人バーチャルメディア工房ぎふ(岐阜県)、株式会社沖ワークウェル(東京都)、株式会社広島情報シンフォニー(広島県)  
一般社団法人えひめICTチャレンジド事業組合(愛媛県)、社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション福祉センター(香川県)

## 全障テレネットとは？



現在、国の「働き方改革」の後押しもあり、障がいのある人に「在宅テレワーカー」として力を発揮してもらうことを考える企業も増えてきました。数年後には法定雇用率が引き上げられることが決定し、「在宅テレワーカー」は更に注目されることが予想されます。また、企業雇用で働くことは困難であっても、ITを使った仕事で社会と繋がりを持ちたいと考え、フリーランスや社会就労のサービスを利用する方々も大勢います。

今回、長年障がいのある方のテレワークに関わる支援を行っていた団体が集結し、『障がいのある方の全国テレワーク推進ネットワーク（全障テレネット）』を発足しました。全国広域かつ、組織の形も、非営利団体、企業、第3セクターなど多様な団体が積極的なテレワーク推進を共通目的として活動しています。

今後、セミナーや共同受注などを計画しています。

### 【活動内容】

各分科会ごとに活動を行っています。（一部計画中）

- (1) 働き方モデル・支援モデル検討分科会  
雇用する側及びテレワーカーとして働きたい障がいのある方の働き方モデルや支援モデルの提案、事例の検討など。
- (2) 共同受注分科会  
ICTを活用したテレワーク業務を複数の事業所で協働する仕組み作り、障がいのある人の収入アップを目指す活動など。
- (3) 広報・啓発活動分科会  
制度に対する提言、雇用促進のための各種補助金や優遇税制などの啓発活動。  
テレワーク促進に関する調査・研究。全国の関係機関との連携・交流など。



## 全障テレネット 活動内容



2017年08月29日 福祉新聞より

2017年8月、障害の重い人などが在宅就労中に訪問介護サービスを利用できない制度の見直しを求め、厚生労働省に要望書を提出。



2017年06月16日 愛媛新聞より

2017年6月、愛媛県内でテレワークへの理解を深めることを目的とした講演会を開催。

## 全障テレネット ネットワーク団体



NPO 法人札幌チャレンジド（北海道）、社会福祉法人東京コロニー職能開発室（東京都）、NPO 法人ぶうしすてむ（愛媛県）  
NPO 法人バーチャルメディア工房ぎふ（岐阜県）、株式会社沖ワークウェル（東京都）、株式会社広島情報シンフォニー（広島県）  
一般社団法人えひめICTチャレンジド事業組合（愛媛県）、社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション福祉センター（香川県）

以上8団体（※2018年3月現在）

### 【お問い合わせ先】

**全障テレネット事務局**  
(NPO法人 札幌チャレンジド)

全障テレネットにお問い合わせの際は、[お名前][ご住所][Eメールアドレス][障害名]をご記載の上、メールにてご連絡ください。

TEL.011-769-0843 FAX.011-769-0842 Email:challenged@s-challenged.jp

〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西6-1 北苑ビル2階

<https://www.facebook.com/zensyotelenet/>